



AI等のデジタル技術を活用した 製造現場の DX推進講座

見積作成、帳票づくり、図面チェック。日々の現場業務を、
AI等のデジタル技術で見直す4回講座

AI活用に関心はあるものの、「自社の、どの業務で、どのように使えるのか
分からない」と感じていませんか。

本講座では、**見積作成、文書・帳票づくり、図面チェック**など、**製造業の実務に近いテーマ**を題材に、AI等のデジタル技術の活用方法を学びます。
講義や事例紹介に加え、自社業務に置き換えて考えるワークを通じて、講
座後に社内で検討・活用するためのノウハウを持ち帰っていただけます。

対象:区内中小製造業に従事する方
(経営者、現場責任者、設計担当、
生産管理担当、品質管理担当、調達担当など)

会場:品川産業支援交流施設 SHIP 多目的ルーム
(〒141-0001 東京都品川区北品川5-5-15 大崎ブライトコア 4階)

参加費
無料

全4回のご参加推奨! 関心のあるテーマの講座のみお申し込みもOKです!

第1回 10/26(月)13:30~16:30

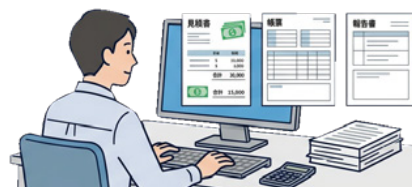


申込メ切:
10月21日(水)
定員20名

中小製造業のための生成AI入門

自社業務を棚卸しし、AIを活用しやすい業務を見つけます。

第2回 10/27(火)13:30~15:30



申込メ切:
10月21日(水)
定員20名

見積・文書・帳票作成へのAI活用

見積書や帳票、報告書の作成をAIで効率化する方法を学びます。

第3回 11/16(月)13:30~15:30



申込メ切:
11月11日(水)
定員20名

図面情報へのAI活用(検図・調達)

図面確認や検図、調達業務へのAI活用の考え方を学びます。

第4回 11/17(火)13:30~15:30



申込メ切:
11月11日(水)
定員20名

作業動画をAIで分析する

作業動画をAIで分析し、作業時間やばらつきを見る化する方法を学びます。

申込方法 | 下記イベントページよりお申し込みください。

https://shinagawa-dx-digital.com/event_list/dx_training_manufacturing2026/

品川区 DX・デジタル技術活用推進事業



品川区DX・デジタル技術活用推進事業HP内にあります、
イベント情報ページよりお申込みいただけます。

◆主催:品川区地域産業振興課中小企業支援担当(経営支援担当) TEL:03-5498-6340

◆企画運営:株式会社キャンパスクリエイトオープンイノベーション推進部 TEL:042-490-5728

✉:open-innovation@campuscreate.com

イベントページ・
申込はこちら



第1回

中小製造業のための生成AI入門

～自社でAIを使える業務の見つけ方～

日時 10/26(月)13:30～16:30

第1回では、製造業でのAI活用事例を紹介しながら、自社業務を棚卸しし、AIを活用しやすい業務を整理します。時間がかかっている業務や属人化している業務などを見直し、自社で最初に取り組むテーマを考えます。

学べる こと

- ・生成AI・AIエージェントでできること／苦手なこと
- ・製造業でAIを活用しやすい業務の考え方
- ・小さく始めやすい業務の見極め方
- ・AIに任せる業務と、人が判断すべき業務の切り分け

ワーク

自社業務を棚卸しし、AIで試しやすい業務を整理します。



第1回 申込

申込メ切:10月21日(水)
定員20名



第2回

AIで作る見積・技術文書・帳票

～「探す・聞く・作り直す」時間をなくす～

日時 10/27(火)13:30～15:30

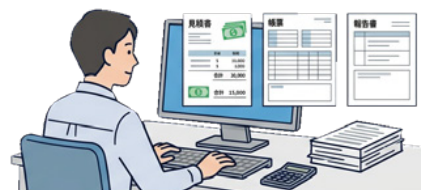
第2回では、見積書、報告書、帳票、技術文書などを題材に、AIを活用して文書作成を効率化する考え方を学びます。AIに任せる範囲と、人が確認すべき範囲を整理し、実務で活用する際のポイントを確認します。

学べる こと

- ・見積書、技術文書、帳票作成へのAI活用方法
- ・AIに伝える情報や指示の整理方法
- ・自社の用語、様式、判断基準を活かす考え方
- ・AIの出力を確認・修正する際のポイント

ワーク

見積・帳票業務を題材に、AIへの指示テンプレートを作成します。



第2回 申込

申込メ切:10月21日(水)
定員20名



第3回

図面をAIに読ませる

～検図・図面チェックと調達業務への活用～

日時 11/16(月)13:30～15:30

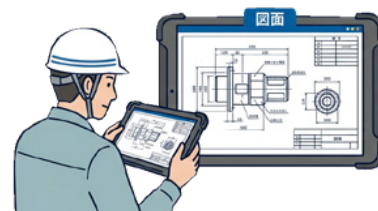
第3回では、図面情報をAIで扱う際の考え方や、図面確認・検図業務への活用可能性を学びます。あわせて、調達・購買業務への展開も取り上げ、AIが支援できる確認と、人が見るべきポイントを整理します。

学べる こと

- ・図面情報をAIで扱う際の考え方
- ・検図・図面チェックへのAI活用の可能性
- ・AIが支援できる確認と、人が見るべき確認の違い
- ・図面情報を調達・購買業務に活かす考え方

ワーク

検図の確認項目を洗い出し、AIと人の役割分担を整理します。



第3回 申込

申込メ切:11月11日(水)
定員20名



第4回

作業動画をAIで分析する

～稼働率・サイクルタイム・ばらつきを数字で見る～

日時 11/17(火)13:30～15:30

第4回では、現場動画・作業動画を題材に、AIを活用して稼働率、サイクルタイム、作業のばらつきなどを把握する考え方を学びます。デモ動画をもとに、分析結果の見方や改善ポイントの見つけ方、自社で試す際の進め方を整理します。

学べる こと

- ・作業動画から現場の状況を数字で把握する考え方
- ・稼働率、サイクルタイム、ばらつきの見方
- ・改善ポイントを読み取る際のポイント
- ・動画を活用する際の撮影方法と現場への配慮

ワーク

デモ動画を題材に、分析結果の見方と改善ポイントを整理します。



第4回 申込

申込メ切:11月11日(水)
定員20名



プログラム講師担当事業者 | 株式会社New Innovations

株式会社New Innovationsは、ロボットメーカーとして培った技術力を基盤に、製造業向けのAX(AI Transformation)事業を展開。生成AIを活用し、業務の自動化・高度化を支援しています



講師 | 伊藤 雅也 氏

製造業の生産技術領域に知見を持つ。株式会社ファースト・オートメーションを創業し、Metaアイディアソン 日本大会 最優秀賞、IVS2024 KYOTO AiHUB賞・審査員賞を受賞。現在はNew Innovationsのメンバーとして、製造業向けAIのご提案・導入を担当している。